

## きほくのまち人探訪

### 「長年にわたり農業に従事 いいものを作り続けたい」



谷口 廣高さん

53年間農業に携わってきた谷口廣高さん。上大野の約25aの畑で主に施設園芸農業に取り組んでいます。

20歳の頃、野菜の栽培を行っていた父親の農業を継ごうと農業の道を選択。現在、谷口さんの作る作物はイチゴとキュウリですが、農業を始めたころは、コノテガシワやモミジなどの花木の栽培を行っていたこともあるそうです。キュウリとイチゴの栽培は、38年ほど前に始めましたが、始めたころはなかなかうまくいかず、技術が身につき生産が安定したのは、10年

経った後でした。谷口さんは「石の上にも3年ではない。何事でも10年間は挑戦し続けなければならない」と力強く話します。

谷口さんの1日の始まりは早く、収穫が忙しいときには、朝4時から夕方暮れるまで仕事をします。「農業はとても大変な仕事。それでも長い間続けてこれたのは、農業が好きだから。それと妻の支えがあるから」と話す谷口さん。「妻と二人三脚。消費者に好まれる生産者になれるようにいいものを作り続けたい」と笑顔で話していました。

## ALTの鬼の里Diary ~Chrisdelle 編~

### 「I want to enjoy summer in kihoku」



鬼北に来て1年が経ち、2度目の夏を迎えます。

子どもたちと接していく中でたくさんの驚きがありました。以前、学校に行ったとき、子どもたちがカブトムシをシャツにつけて遊んでいました。アメリカの子どもたちは、虫を手で捕まえることはほとんどなく、観察だけするのが一般的です。昆虫に対する考え方が違うのだと思いました。

また、子どもたちが野菜や花を育てているのも驚きました。それを見て、トマトとイチゴを育てていた祖父を懐かしく

思い、私も自宅で野菜を栽培したいと思いました。

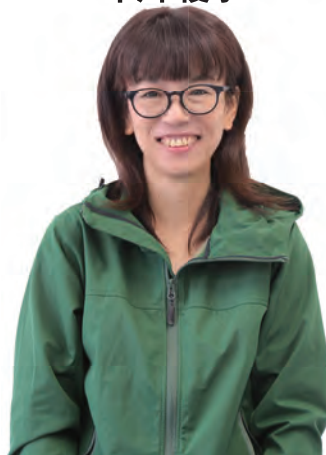
私には、まだまだ学びたいことがたくさんあります。冷やし中華などの作り方や蚊やムカデを遠ざける方法など日本の夏の文化をたくさん知っていきたいです。また、B&G海洋センターに行って水泳もしたいと思います。新しく自転車も買いました。自転車の色は、私の好きなミントカラーです。B&G海洋センターにもこの自転車で通いたいと思っています。もし、自転車に乗っている私を見かけたら、ぜひ声をかけてください。

## 地域おこし協力隊活動日記

### 「内山展望台に登りました！」

地域おこし協力隊3年目

はやかわ ゆうこ  
早川 優子



6月22日、鬼北町生田地区にある綱付山の山頂に建設されている内山展望台に、愛治小学校5、6年生の授業があるということで同行させていただきました。

山道2.9kmを皆で歩いて登り、綱付山は標高約760m。その山頂にある展望台からは、その日の天気良かったので鬼北町が一望できました。さらに、永野市の鬼北総合公園から、宇和海まで見ることができました。展望台では、下を見ると少し怖かった階段も小学生の皆と登ったことで、楽しく登ることができ、愛治地区町有林管

理組合の方からのガイドで山に興味を持ちました。

